

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (経済学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	NGUYEN THI XUAN TRINH
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) Essays on Health-related Behaviors: Evidence from Japan			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教授 角谷 快彦	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授 山根 明子	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授 前田 慶明	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、候補者の NGUYEN THI XUAN TRINH 氏が出版した3本の SCI 論文をまとめたものである。なお、NGUYEN THI XUAN TRINH 氏は博士後期課程在学中に、11本の SCI 論文（うち4本で筆頭著者）を出版しており、本学の育成助教に内定している。</p> <p>本博士論文では、1) 個人の金融リテラシーおよび金融教育受講経験が、がん検診の受診行動に与える影響、2) 個人の金融リテラシーが定期健康診断受診行動に与える影響、3) コロナ禍における若者世代のワクチン接種忌避行動の要因を対象とし、全国規模の家計パネル調査を分析し、政策評価や行動要因を基とした政策的含意を検討したものである。</p> <p>論文の構成は、次のとおりである。</p> <p>第1章では、イントロダクションとして、日本の社会福祉や少子高齢化に関する社会課題に、健康行動をチャンネルとした、合理的行動の普及による解決を志向する研究意義を総括している。</p> <p>第2章は、出版済の SCI 論文「Financial Literacy, Financial Education, and Cancer Screening Behavior: Evidence from Japan」の内容で、全国規模の家計調査データを用い、個人の金融リテラシーの高さと金融教育の受講経験が、がん検診の受診行動に与える影響について、がんの種類や年齢や性別等のサブサンプルを用いた分析を行い、人々に無理なくがん検診受診を促す政策的インプリケーションを導出している。</p> <p>第3章は、出版済の SCI 論文「Does financial literacy influence preventive health check-up behavior in Japan? A cross-sectional study」の内容で、全国規模の家計調査データを用い、個人の金融リテラシーの高さが、定期健康診断の受診行動に与える影響について、労働環境や喫煙・飲酒習慣の有無等の社会経済的、行動的要因を考慮しながら分析し、人々に無理なく定期健康診断の受診を促すためにはどのようなアプローチをしたら良いかに関する政策的インプリケーションを導出して</p>			

いる。

第4章は、出版済SCI論文「Hesitancy towards the Third Dose of COVID-19 Vaccine among the Younger Generation in Japan」の内容で、研究室が行った全国規模の家計パネル調査データを用い、当時世界的な重要課題であった、コロナワクチンの第三回接種（いわゆる「ブースター接種」）における若年層のワクチン接種忌避行動とその要因を分析し、新型コロナによる健康被害の軽減に資する政策的インプリケーションを導出している。

第5章は、研究の意義と課題を振り返る結語である。

本論文は、次の3点で高く評価できる。

1. 自らの薬剤師としてのキャリアと医学知識を活かした健康行動領域に、経済学特にパーソナルファイナンス領域の分析手法を持ち込み、分野融合領域を開拓した学術的意義は大きく、高く評価できる。
2. なかでも推計結果のロバストネスをサブサンプルやパネルデータを用いた検証は、これまでの医療経済学領域の論文と比較しても精緻であり、高く評価できる。
3. コロナ禍に伴う早急なワクチンの普及が世界的に重要な関心であった中で、若者のブースター接種への忌避意識の要因を、パネルデータを用いていち早く精緻な分析結果として提示した論文が、他のSCI論文から多くの引用を得た点も高く評価できる。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（経済学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和6年2月13日

備考 要旨は、A4版2枚（1,500字程度）以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed A4 size, 2 pages (about 500 words).)